

第 19回 青梅市公共交通協議会

基本計画推進状況について

1. 市広報紙による公共交通の利用促進について
2. 成木地区公共交通検討委員会の取り組みについて
3. サイクル&バスライドについて
4. 河辺下地区の取り組み状況について

平成28年8月4日

1. 市広報紙による公共交通の利用促進について

公共交通機関のダイヤが改正されました

く乗って守ろう！使って
育てよう！公共交通く

市内を運行する公共交通
機関では、3月26日（土）
にダイヤ改正が実施されま
した。各交通事業者のホー
ムページ、駅、バス停の掲
示などでご確認ください。

通勤、通学や買い物など
の外出には、電車やバスな
ど公共交通機関をご利用く
ださい。

改正を実施した
交通事業者

東日本旅客鉄道（株）▽
東京都交通局▽西東京バス

（株）（イオンモール方面の
運行系統の変更も含む）▽
西武バス（株）
問い合わせ まちづくり推
進課



「広報おうめ」平成28年4月1日号(48, 400部印刷発行)

2. 成木地区公共交通検討委員会の取り組みについて

(1) 前回の協議会以降の取組状況

【平成28年度】

- 第9回(平成28年7月22日)

成木地区における新たな交通の検討について

《参考》



～成木公共交通検討委員会について～

成木地区においては、地区内の公共交通である都バス梅76・梅74系統が、平成26年4月より減便となった。このため、地域への影響把握や今後の対策等の検討を図るため、「地域住民による地域公共交通改善の手引き」(平成26年度青梅市公共交通協議会で策定した地域公共交通改善制度の支援マニュアル)にもとづき、成木地区公共交通検討委員会を発足した。

- 構成メンバー

成木地区自治会長等12名

概略運行計画(素案)の拡張検討

<p>ルート1</p>	<p>白岩地区への乗り入れ</p> 
<p>ルート2</p>	<p>朝1便のみ成木小学校へ乗り入れ</p> 

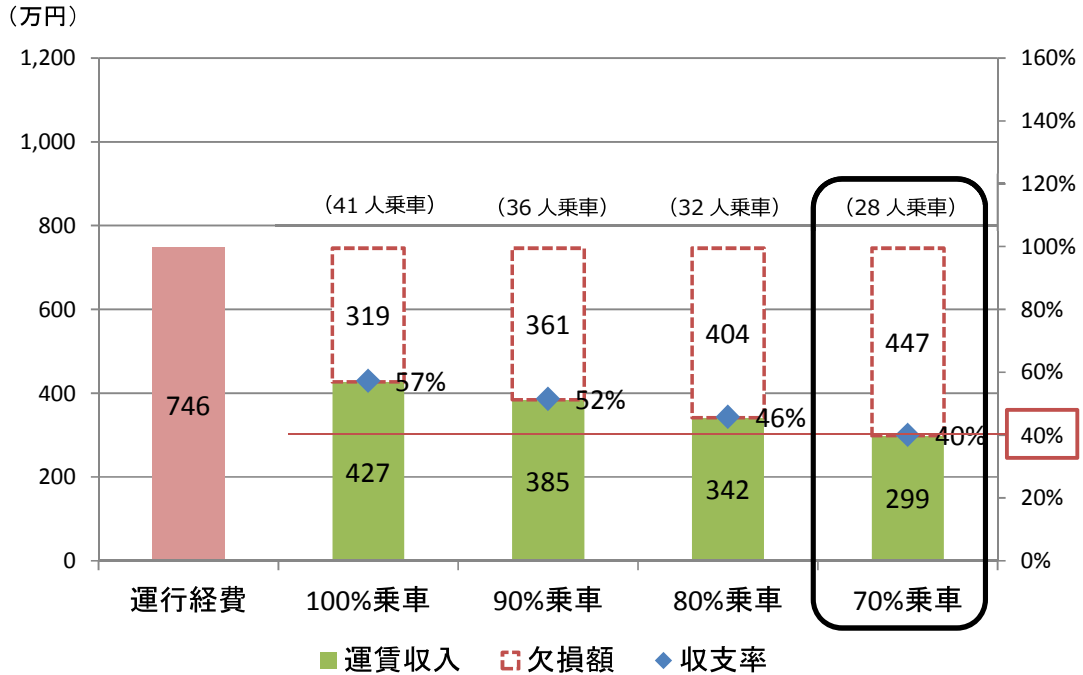
※ルート1、ルート2における運行経費は同額

概略運行計画（素案）試算状況

※運賃は都バスと同額程度を想定

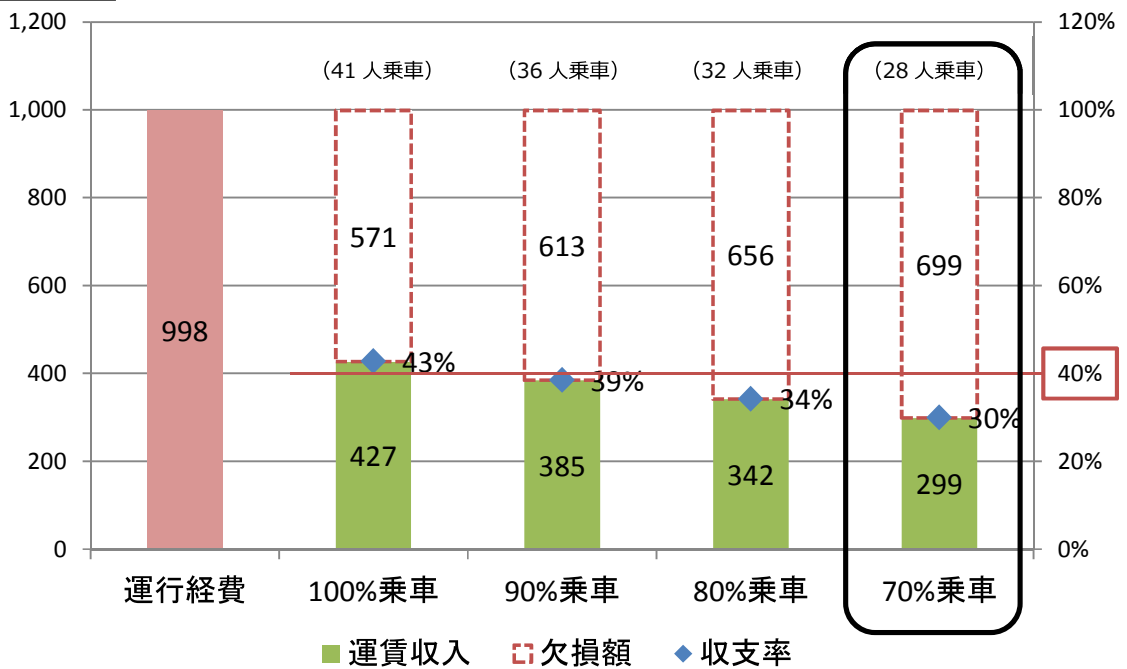
基本ケース

月～土（日祝運休/6日間） 7時～19時の運行
 （平成24年に調査した成木地区の乗車数を41人として試算）



時間帯延長ケース

月～土（日祝運休/6日間） 6時～20時の運行
 （平成24年に調査した成木地区の乗車数を41人として試算）



(2) 成木地区における新たな交通の今後の検討について

【検討委員会で出された主な意見】

- 基本ケース(7-19時)では、通勤時間帯に利用しにくい。
- 平成24年OD調査時よりも、利用者は減少している可能性が高い。
- シルバーパスが使えなくなる影響について考える必要がある。
- 昼間の時間帯の利用者は少なく、本数を増やしても利用者の増加は見込めない。
- 利用者が想定0~3人程度の便は、本当に必要なのか検討すべき。
- 都営バスの積極的な利用に取り組むべき。
- 現行の都営バスとの比較を慎重に行うべき。

【考察】

平成24年OD調査以降、時間が経過しており、利用者の減少が想定される。

基本ケースでは、朝の通勤時間帯の利用者の減少、シルバーパス利用者の減少等を考慮し、仮に利用者数が70%に減少していることを想定した場合、基本ケース(7-19時)では収支率が40%、時間帯延長ケース(6-20時)については収支率40%を下回ることになる。

なお、公共交通基本計画で定めた公的支援基準収支率40%を確保できない場合、運賃値上げや減便等を実施する必要も考えられる。

【課題】

- 現在の利用状況(利用者数、利用目的、券種)の把握
- 小学校のスクールバスとの相互利用等を含め、収支改善策の検討
- バス利用促進策の検討
- 「都営バス」と「新たな交通」について、通勤やシルバーパスを考慮した比較検討

都営バスと新たな交通のサービス比較

	都営バス	新たな交通
運行本数	5本	9本
運行時間帯		
成木発(始発)	06:20	7時台
成木着(最終)	20:12	19時台
シルバーパス	利用可	利用不可
白岩地区への乗り入れ	なし	あり

【今後の方針】

○新たな交通の運行計画については厳しい状況であることから、OD調査を行ったうえで、地域の実情に合った運行計画や収支率の改善等をさらに検討していく。

3. サイクル&バスライドについて

◆今井地区におけるサイクル&バスライドについて

今井地区における「サイクル&バスライド」の提案

1. サイクル&バスライドについて

青梅市公共交通基本計画（平成25年3月）では、市街地の公共交通空白地域を改善するため、バス停から遠い地区からでも自転車でバス停にアクセスできるようにする「サイクル&バスライド」の導入を提案しています。

今井地区では3つのバス路線が運行されていますが、小作駅方面や河辺駅方面に対しては、バス停まで遠く、バスを利用しづらい地区がみられます。

これらの地区の改善に向けて、「サイクル&バスライド」の導入を提案します。

2. サイクル&バスライドのイメージ

小作駅方面と河辺駅方面への両バス路線が通る「七日市場」バス停付近にバス利用者向け駐輪場を設置して、バス停まで自転車で来られるようにします。

①自転車でバス停付近の駐輪場へ

②自転車を駐輪

③バス停からバスに乗って小作駅や河辺駅へ



3. サイクル&バスライドのメリット

このようにすることで、バス停から離れた地区に住んでいる方も、バスで小作駅や河辺駅へ行くことができます。

また、自転車で直接、小作駅や河辺駅方面へ行っている方も、帰りに坂道を登ってこなくて済みます。

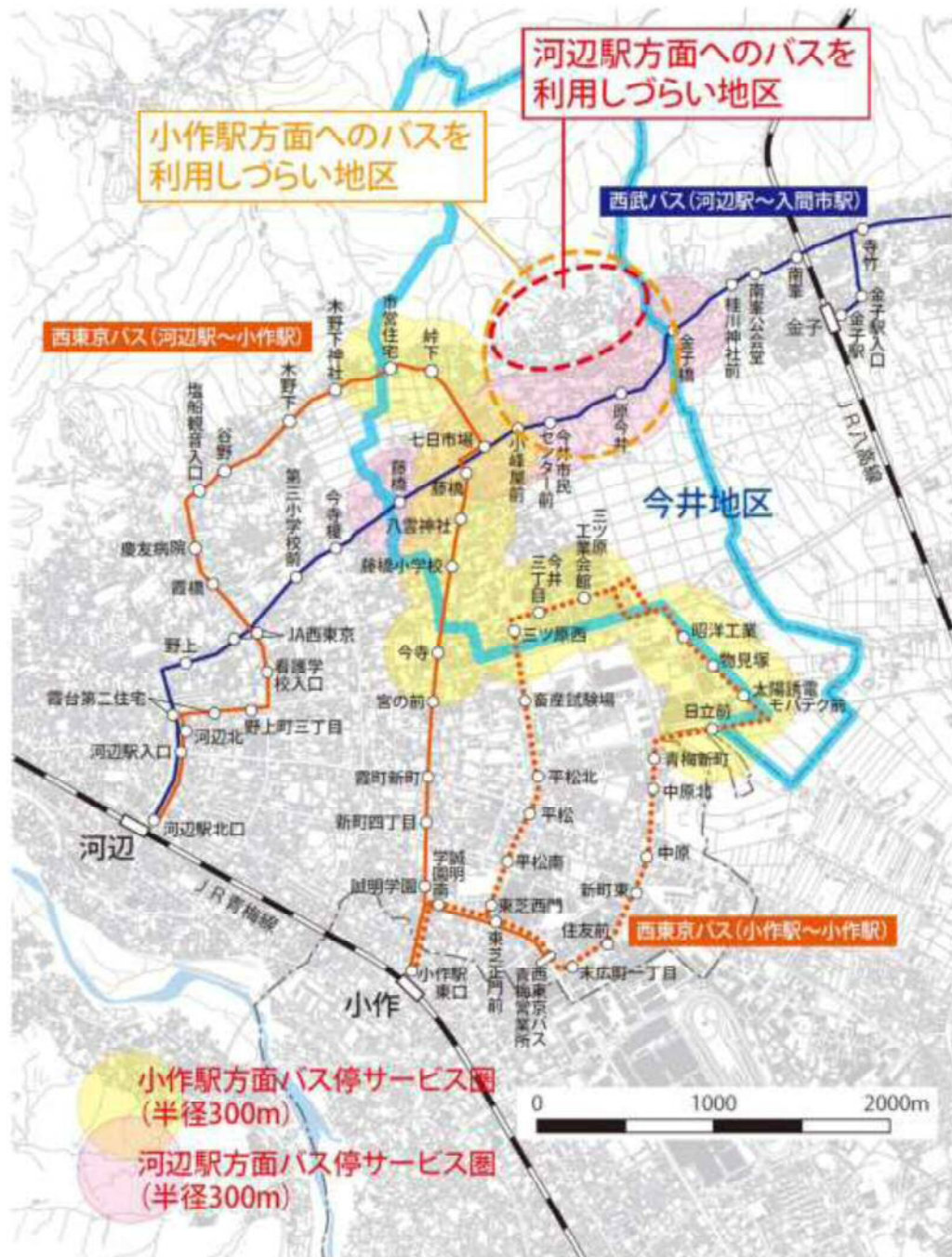
<イメージ>



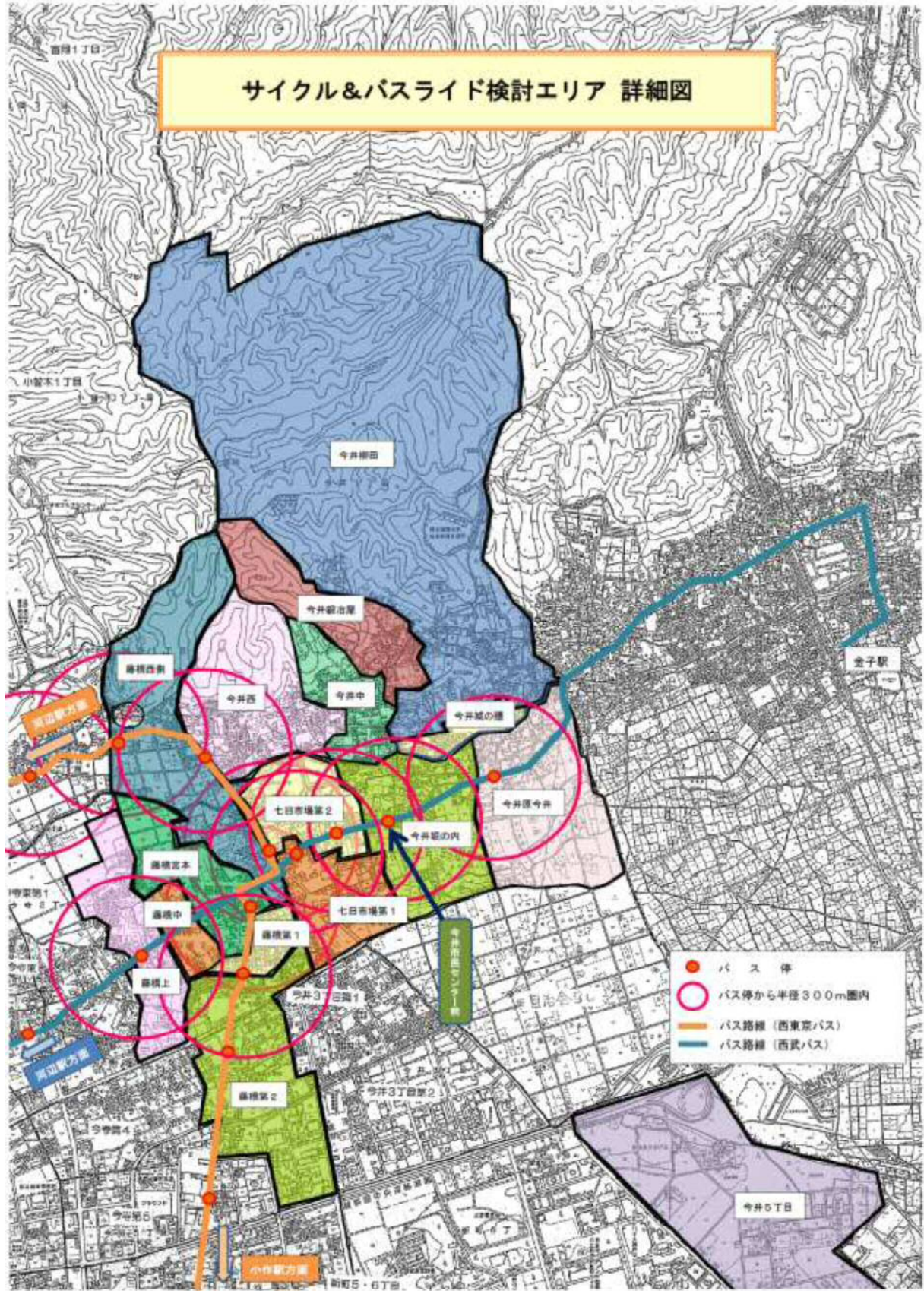
参考

: 神奈川県愛川町HP

: 埼玉県吉川市HP

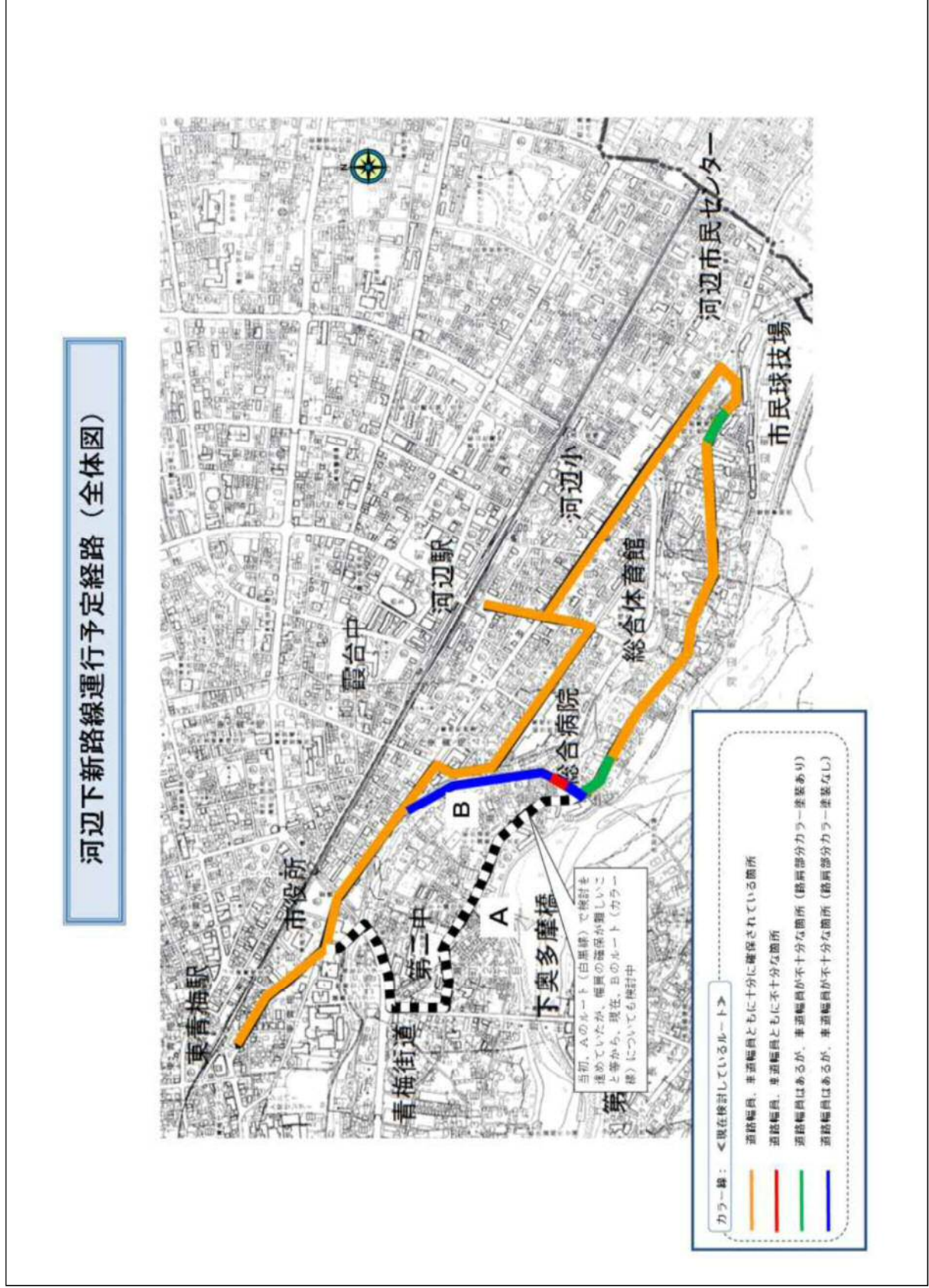


サイクル&バスライド検討エリア 詳細図

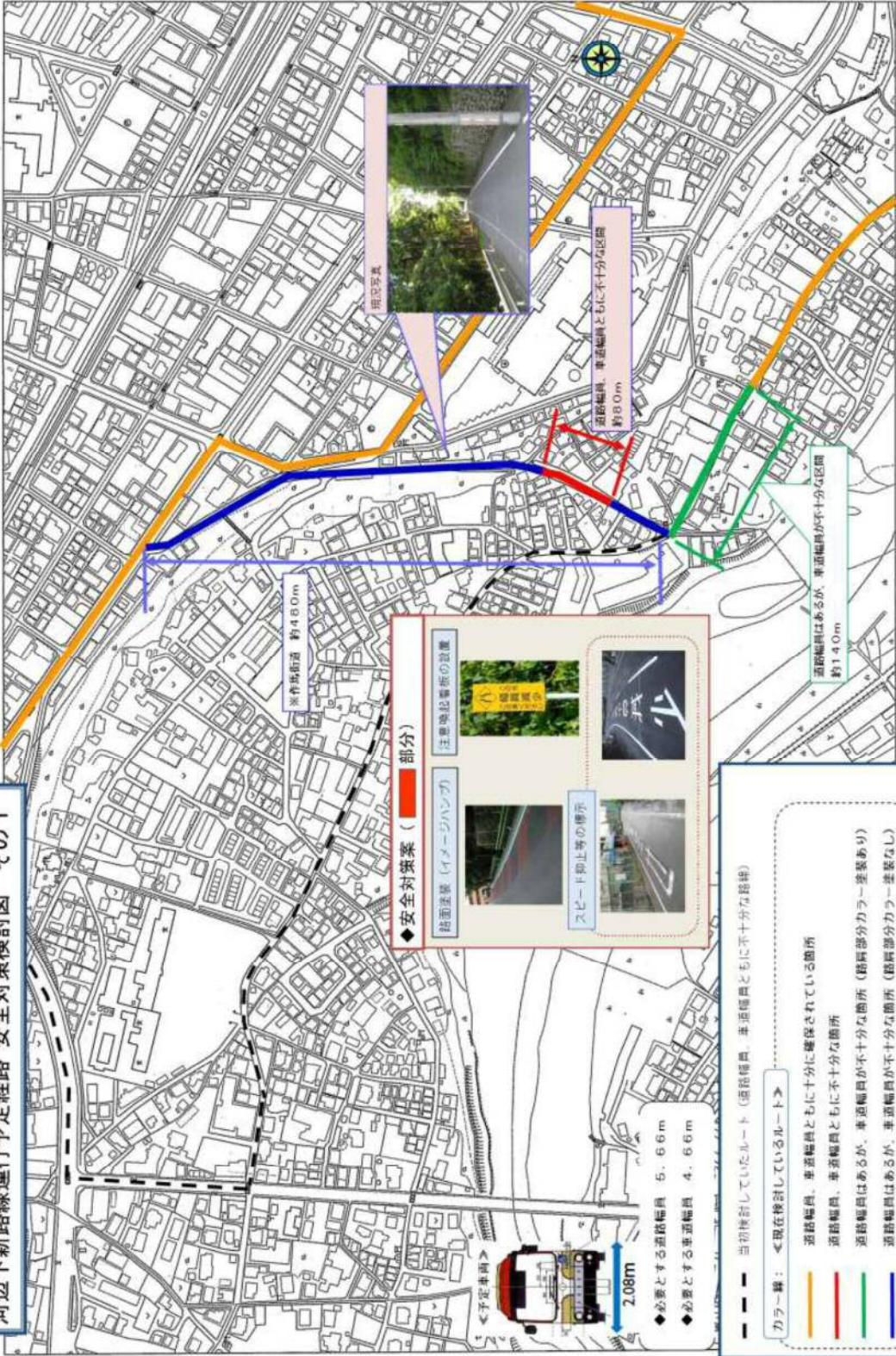


4. 河辺下地区の取り組み状況について

河辺下地区における新規路線の開設に向けて、ルートの検討を行っているが、一部に幅員が狭い箇所が存在しており、看板や路上表示により注意喚起を行うことを検討している。



河辺下新路線運行予定経路 安全対策検討図 その1



◆安全対策（ 部分）

路面塗装（イメーハンガ）

注意喚起看板の設置

スピード抑止等の標示



※作務街道 約480m

道路幅員、車道幅員とも不十分な区間
約80m

道路幅員はあるが、車道幅員が不十分な区間
約140m

- カラー線： <現在検討しているルート>
- 当初検討していたルート（道路幅員、車道幅員とも不十分な路線）
 - 道路幅員、車道幅員とも十分に確保されている箇所
 - 道路幅員、車道幅員とも不十分な箇所
 - 道路幅員はあるが、車道幅員が不十分な箇所（防衝部分カラー塗装あり）
 - 道路幅員はあるが、車道幅員が不十分な箇所（防衝部分カラー塗装なし）

◆必要とする道路幅員 5.66m
◆必要とする車道幅員 4.66m

2.08m
<予定車幅>

SCALE : 1/3,000

河辺下新路線運行予定経路 安全対策検討図 その2

